

1. 概要

■調査目的

医療的ケア児とそのご家族の生活状況や支援ニーズを伺い、今後の医療的ケア児等支援の参考とするため

■調査対象

豊島区内在住の医療的ケアが必要な0歳から18歳までの児童

■対象者数

33人（回収数26人）

■調査期間

令和7年6月6日（金）～6月30日（月）

■調査内容

- ・医療的ケアを必要とするお子様について
- ・ご家族について
- ・利用している障害サービスについて
- ・相談先について
- ・災害時について



2. 調査結果

（一部抜粋）

- ・主な介護者は「母」で、1日の中で介護から離れる時間が1時間未満の割合が2割
- ・親族（祖父母等）からの「協力は困難」の割合が5割以上
- 24時間、目が離せない子どももいるため、医療的ケア児の保護者の介護負担及び精神的負担は大きい。医療的ケア児本人だけでなく、医療的ケア児を支える家族に対する更なる支援が必要
- ・家族以外の相談先について、「医師」や「訪問看護師」の回答が最も多く、「当事者」の回答は少ない
- 不安や悩みごとなどの相談や共有ができる場を設ける必要
- ・**災害時の心配事**について、「ケア用品の備蓄」が最も多く、次いで「**医療機器のバッテリー**」の回答が多い
- 災害時等も含めた医療的ケア児の安全確保に向けた支援が必要

3. 自由記載

○障害サービス等を利用してよかった点

- ・仕事を継続できた
- ・兄弟たちとの時間を作ることができた
- ・家事をする時間ができた

○障害サービス等の不足により困っていること

- ・仕事の時間を確保できない
- ・移動が大変
- ・予約が取りにくく、緊急で利用できず不便（ショートステイ）

○災害時電源確保が出来ない場合に生じる困難

- ・災害時に電源確保ができない場合、たん吸引器や酸素濃縮器などが使えなくなり、命にかかわる